



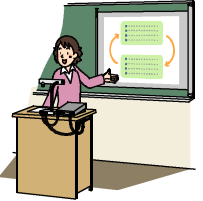
平成30年度 秋田県総合教育センター
総合教育センターだより

第165号
平成30年9月5日発行
〒010-0101 湯上市天王宇追分西29-76
TEL 018-873-7200 (代表)
http://www.akita-c.ed.jp

第33回秋田県教育研究発表会 発表者を募集します!

秋田県総合教育センターでは、本県教育の振興を目指して、県内の幼稚園・保育所・認定こども園等、各学校、教育機関等における教育研究成果の普及・交流を図るために、発表会コンセプト「郷土あきたの教育への提案」の下、次のとおり「第33回秋田県教育研究発表会」を開催いたします。

〈 期 日 〉 平成31年2月7日(木)・8日(金)
〈 会 場 〉 秋田県総合教育センター



開催に当たり、次のとおり発表者を募集していますので、奮って御応募ください。

研究分野

- | | | |
|---------|---------------------------------|----------------------|
| ① 学校運営 | ② 教科等指導(道徳, 総合的な学習の時間, 特別活動を含む) | |
| ③ 生徒指導 | ④ 情報教育 | ⑤ 特別支援教育 |
| ⑥ 就学前教育 | ⑦ ふるさと教育, キャリア教育 | ⑧ その他教育に関すること(環境教育等) |

発表者

次の(1)~(5)のいずれかに該当する県内の幼稚園・保育所・認定こども園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員及び教育委員会・教育機関の職員を発表者とする研究発表を募集します。

- (1) 秋田県教育委員会から研究発表の要請を受け、所属長の承諾を得た者
- (2) 研究委嘱や指定、各地区の研究会等での発表者で、会長及び所属長の承諾を得た者
- (3) 秋田大学等における大学院派遣研修生及び修了した方で、所属長の承諾を得た者
- (4) 日本教育公務員弘済会等の研究論文募集に応募し、入選された方で、所属長の承諾を得た者
- (5) 発表を希望し、所属長の推薦を得た者

発表形式

「(1)口頭発表」と「(2)ポスター発表」の二つの発表形式による研究発表を募集します。教育現場での汎用性がある研究発表を基本とし、発表のまとめが「提案を基調とする内容」となるようにお願いします。

発表の申込み

発表を希望する方は、所属長の承諾・推薦を得て、所定の様式により電子メールで申し込んでください。申込書は、当センターウェブサイトからダウンロードしてください。

- ◆ 申込期間 **平成30年9月3日(月)~10月31日(水)**
- ◆ 申込み・問合せ先 秋田県総合教育センター
教科・研究班 黒澤 望・阿部智博
TEL:018-873-7203 E-mail:happy@akita-c.ed.jp



教育研究発表会参加申込みの受付は、12月上旬からです

参加の申込方法等を記した「第二次案内」を、12月上旬に当センターウェブサイトに掲載します。参加申込受付はそれ以降となりますので、今しばらくお待ちください。なお、上記発表の他、「センター研究発表」「講演」など、参加者が様々な教育実践や教育研究に触れるとともに、実践を紹介し合う内容となっています。多数の参加をお待ちしております。

★詳しくは、当センターウェブサイトのトップページ(<http://www.akita-c.ed.jp/>)から、「秋田県教育研究発表会」→「第33回秋田県教育研究発表会(第一次案内)PDF版」を御覧ください。

Akitaractive Eye 主体的・対話的で深い学びのために

当センターでは、これまでの研究から授業における理念を重要視した「Akitaractive」を提案してきました。本年度はさらに、この理念を分かりやすく周知し、活用していただけることを目的とした「Akitaractive Eye」と名付けたシートを発信します。発信に向けて一部講座で配付し、受講者のみなさんから御意見を頂いております。詳細につきましては、2月の秋田県教育研究発表会で御紹介いたします。

Akitaractiveについて

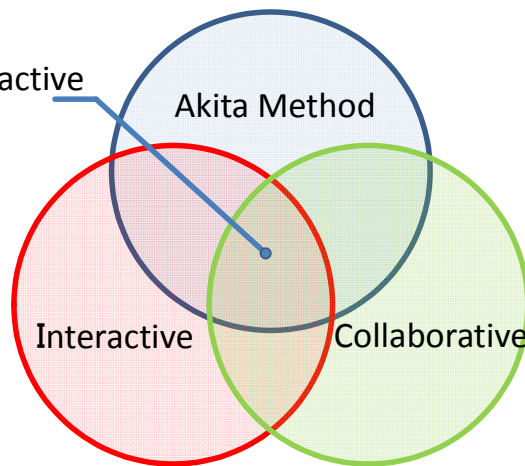
Akitaractiveとは、先生方自身が秋田の探究型授業を継承し、新学習指導要領への対応をしながら、更に自らの授業技術を発展させていくように目指していきたい理念を表しています。秋田の探究型授業に見ることができる、秋田県の先生方が創り上げてきた大きな財産である「Akitamethod」を、主体的・対話的な学び「Interactive」(対話的)、「Collaboative」(協働的)の視点で焦点化しました。全ての学校・クラスの授業で深い学びが実現できることを目指しています。

Akita Method

(active learningの視点からの授業づくり)
学習の見通しをもつ、自分の考えをもつ、ペア・グループ・学級で話し合う、学習内容や学習方法を振り返るといった基本プロセスを理解します。各段階を機能させ、プロセスとして関連付けた授業づくりを目指します。

Interactive (対話的)

ペアやグループでの対話、問題との対話、これまでの学びとの対話等、対話を通して自他の考えを言葉に表したり、図等で可視化したりして伝え合う場面を設定します。対話的な学習が子どもの思考を広げ、深めていきます。



Collaborative (協働的)

課題設定、机の配置や話し合う場の工夫、子どもの思考をつなげる教師のコーディネートなど、必要感のある協働の場を構築するための手立てを常に意識しながら授業を構想していきます。

<Akitaractiveの概念図>

「星の観察教室」への御来場 ありがとうございました

8月10日(金)、「星の観察教室」を開催しました。

今年は、169名の方々に御越しいただきました。受付開始後まもなく定員に達したプラネタリウムでの学習会を始め、星座早見盤の製作や天体シミュレーションの体験、4次元デジタル宇宙シアター、ロケットについてのクイズや展示に、参加者は目を輝かせていました。

曇天のため、望遠鏡での星空の観察はできませんでしたが、製作した星座早見盤で、他の季節の星空も観察してみたり、冬のプラネタリウム教室にも参加してみたりするなど、宇宙への関心を深めるきっかけになってくれればと思います。



来場者アンケートより

- ・夏休み中の開催なので、子どもの思い出に残り、たいへんよいと思います。
- ・幼い子どもも参加できる内容でした。
- ・小学校2年生の息子が星をめがけてロケット発射に夢中でした。
- ・プラネタリウムで星のことをいっぱい知ることができて、よかったなと思いました。
- ・はじめて天体望遠鏡に触れる機会となりました。また、参加します。

折り紙でロケットをつくったよ！ 大きな天体望遠鏡を覗いてみたよ！

12月には「プラネタリウム教室」を開催いたします。詳細は、次号の「総合教育センターだより」でお知らせします。